

学 校 名	山形市立第六中学校 山形市南原町二丁目3番5号 TEL 622-0314 FAX 633-9803	校 長	石 川 宙 二
		研究主任	国 井 和 俊
研 究 主 題	<p style="text-align: center;"><b>学び合い高め合う生徒へ</b>（4年次）</p> <p style="text-align: center;">～ 追究意欲を促し学び合いを生む場の設定～</p>		
研 究 主 題 設 定 の 理 由	<p>この研究主題、サブテーマは、「生徒どうしの係わり合い」や「学習者としての主体性」を大切にしたいというものである。</p> <p>人との係わり合いということは、「生きる力」と言ってもよい大切なものだと思う。また、生徒をいかに主体性を持たせ意欲的に授業に参加させるかは、教師にとって研究のしがいがある大きなテーマである。</p> <p>主題を設定して4年次になるが、生徒の実態をとらえ、望む方向へ設定していると思う。</p> <p>また、この主題は教科はもちろん、道徳・特別活動・行事など学校教育の諸分野や総合的な学習においても追究するに足る大切な課題と考えている。</p> <p>サブテーマについては、生徒の具体的な姿や学習場面、活動場面のイメージを描きながらそれぞれの実践を考え得るテーマであり、共通認識を持ちやすい。</p> <p>本校の生徒は、明るく元気で人なつっこい。部活動や行事に燃えるエネルギーもある。この良さを生かして、自他を高める厳しさや遅しさを育てたい。そのためにも、授業を初めいろいろな場面で生徒の知的好奇心を呼び起こし、仲間と係わり合い追究し合うおもしろさを存分に味わわせ、互いに「学び合い、高め合う生徒」に育てたいと考えた。</p> <p>昨年度から新学習指導要領が完全実施となり、総合的な学習、選択教科など新しい内容が出てきた。それらの新しい分野への対応、研究も必要なのだが、本校のテーマは教科の研究を中心にもってきた。これは、教科の学習こそが、根本であって変わらない基礎になるものだという考えからである。</p>		
研 究 の 目 標	<p>生徒どうしが前向きかつ積極的に係わり合い、心地好い緊張感や充足感、感動を味わいながら本気で取り組む中で、学習（活動）内容がよくわかったり、より高いレベルに引き上げられていく「学び合い高め合う」場面を日常的に求め、授業を初めいろいろな場面で、課題意識を持って学び合い高め合おうとする生徒を育てていけるようにする。</p>		

<p>研究の仮説</p>	<p>生徒の追究意欲が促され、学び合いが生まれるためには、次のようなことが必要と考え、それらを場面に応じて活用していくことで、お互いに高めあえる生徒の育成につながると考える。</p> <p>&lt; 課題 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 知的好奇心が刺激される課題</li> <li>・ 感性をゆさぶる課題</li> <li>・ 体験をともなう課題</li> </ul> <p>&lt; 活動場面 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒自身の多様な考えや真剣な活動が引き出される場面</li> <li>・ 仲間の姿や言葉、活動、作品等を通して、自己の姿や考えなどを見つめ直すことができる場面</li> </ul>
<p>研究の内容</p>	<p>本校教育活動のいろいろな場において生徒どうしの前向きで積極的な係わり合いや学び合いを求め「学び合い高め合う生徒の姿」を共通にイメージして、主題やサブテーマに迫る手立てを追求できるようにする。</p> <p>教師自信が授業を積極的に見せ合い、授業改善を念頭において授業研究を推進できるようにする。</p> <p>教科の授業を基本と考えるので、一人1回は指導案を書いて自分の教科の授業に取り組む。そして、その授業を公開する。その際、教科部会で事前に指導案を検討して、主題にせまれる課題かを話し合う。公開するときには、基本的にその時間に空いている先生を中心に参観する。授業が終わったら教科単位で事後研を持つ。各教科で一回、小研を実施して講師の先生からも助言をいただく。</p> <p>また全校授業研究会を2回実施する。</p>
<p>研究の計画</p>	<p>4月下旬 今年度の研究主題及びサブテーマについて決定</p> <p>5月末 各教科ごとの今年度の研究についてをまとめて提出</p> <p>6月25日 第一回全校授業研究会 道徳・特活の授業研究会</p> <p>10月3日 第二回全校授業研究会 教科の授業研究会</p> <p>5月～12月までの間に全員が指導案を書いたの授業を実施する。 (教科単位で、小研を一回実施する)</p> <p>2月下旬 各教科ごとの今年度のまとめを行い、指導案綴りと合わせて発行する</p>